



# ブラジル ベロオリゾンテ

2011年7月～2013年6月滞在

子どもの年齢: 6歳・9歳・12歳

(2017 年記)

## 基本情報

気温	標高800mの高原のため、年間を通して 15～29 度 過ごしやすい気候
緊急電話	警察 190 救急消防 193
電圧	110V のところと220V のところがある 電圧は一定してないので変圧器必要
水	飲料水としては、適していない

## 買い物

日本の物	サンパウロやリオデジャネイロなどには日本人街があるが、大変高価
食料品	サンパウロなど大都市に買い出しに行くことが多いが、それなりの模倣品はスーパーで売っている メルカド東京という日本食材店がある
日用雑貨	100 均製品程度のものは、日本で購入したほうが質は良い
学用品	シャープペンシルなどは貴重だが、STAEDTLER や BIC などを売っている
衣類	衣類は豊富で現地で揃うが、ユニクロ系は日本で用意したほうが品質は良い

## 交通

公共交通	バス・乗用車（ブラジル人の場合）
運転免許	日本の免許保有者は、学科試験免除で切り替え可能

## 住居

住宅事情	集合住宅 コンドミニアム
日本人が多く 住むエリア	ルージュス地区 ノバリマ地区 サヴァシ地区
使用人	ファシネイラと呼ばれるお手伝いさんは住み込みタイプや通いタイプがある 運転手も雇う
治安 セキュリティ	銃社会なので十分に注意しないと襲われる危険がある 夜間の外出はしない

## 教育

通った学校	Escola Americana Belo Horizonte ( EABH アメリカンスクール)
通った学校の	<a href="http://eabh.com.br/eng/">http://eabh.com.br/eng/</a>

詳細	通っている児童は、ブラジル人が 1/3、ヨーロッパ圏 1/3、北米 1/3 補習校はない
塾	ブラジル人向けの公文がある
家庭教師	日本の勉強をフォローする家庭教師はいないので、SKYPE を利用したり、通信教育に頼る
習い事	サッカーやスポーツクラブに所属できる 水泳、テニス、バスケ、乗馬などもさかん 野球チームもある

病院	
医療事情	英語を話す医者を探すのはかなり大変 加入保険内容によっては、最先端の医療技術を受けられる
日本人医師	日系の小児科・歯医者はある
薬品	ファルマシア（処方薬売り場）とドロガリア（OTC 市販の薬売り場）がある

交流	
日本人	駐在関係以外で日本人に出会うことは少なく、道を歩いていると珍しがられる
現地の人	とにかく、明るく人懐こく、優しい人が多い
駐在外国人	FORD があるので、イタリア・フランス・アメリカ系が多い

## 伝えたいこと

ベロオリゾンテはミナスジェライス州の州都であり、サンパウロ・リオデジャネイロに続きブラジル第三の都市で（サンパウロから約 600km リオデジャネイロから、約 430km）。

周りを自然豊かな山で囲まれ、海ではなく川や滝、洞窟などが有名で、牛や馬を飼育している農場が多く、チーズとバターとミルクがおいしい所です。

ベロオリゾンテを含むミナスジェライス州は日本の約 2 倍の面積を誇り、その名前<Minas Gerais>にも表されているとおり、鉄、金、水、ダイヤ、石などの天然資源を豊富に所有する州です。ミナスジェライス州は、ブラジルを代表する作家、画家、音楽家、そして歴史的において偉大な政治家（失脚したジルマ大統領を含む）を輩出し続けているインテリの多い州でもあります。ミナスジェライス州に住む人々のことを<ミネイロ>、女性であれば<ミネイラ>と呼ばれます。ミネイロ・ミネイラは、時代の流行を追いかけることより、昔からの文化や風習を大事に扱っている人々が多く、お金をたくさん持っても、豪華絢爛な家を建てたり、高級な外車を乗り回すというようなことを嫌います。

逆に言えば、<昔からの文化を大事にする>ということは保守的、閉鎖的であることも意味します。

周りを海ではなく、山に囲まれているという立地や地形も、性質に影響しているのかもしれませんが。

ブラジル第三の都市ベロオリゾンテは、サンパウロやリオデジャネイロと比べると土地は広いですが、経済的な規模は小さく、お店の数、商品の種類や品数は圧倒的に少ないです。

日本人は本当に少数で、街中でアジア人を見かけることさえまれですが、大抵は中国人か台湾人です。

また、アジア人に限らず 永住している外国人が少ない所です。